

## ケースで学ぶ国際財務報告基準（IFRS）

講師：杉本 徳栄 関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授

神戸商科大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得退学。延世大学大学院留学(1986年～1987年)、デューク大学 Fuqua ビジネススクール Research Scholar(1999年～2000年)。現在の研究テーマは、アメリカ証券取引委員会(SEC)の会計政策や国際会計基準審議会(IASB)の国際財務報告基準(IFRSs)とその戦略。『アメリカ SEC の会計政策』(中央経済社、2009年)で国際会計研究学会学会賞、『開城簿記法の論理』(森山書店、1998年)で日本会計史学会学会賞を受賞。その他『事例分析 韓国企業のIFRS導入』(編著、中央経済社、2011年)、『会計の変革』(共訳、同文館出版、2014年)など。公認会計士試験試験委員(2010年度～2013年度)などを歴任し、現在、文部科学省中央教育審議会専門委員、会計教育研修機構理事、国際会計研究学会理事、日本会計教育学会理事、日本会計研究学会国際交流委員会委員、会計大学院協会理事長、税理士試験試験委員などを務める。



### ■講座概要

日本企業による国際財務報告基準(IFRS)の適用事例などをもとに、日本企業にとって重要と思われるいくつかの基準について学び、理解を深めるための講座です。

### ■受講をお勧めしたい方

- ・優れた会計専門職業人を目指している方。
- ・IFRSの主たる規定について学びたい方。
- ・IFRSの任意適用を行なっている日本企業の実態について理解したい方。

### ■カリキュラム

#### 第1回 4/9(日) 12:15～14:45

ケース(1)「財務諸表の表示・開示」—IFRS 任意適用企業の開示実態

#### 第2回 4/16(日) 12:15～14:45

ケース(2)「有形固定資産」・「無形資産」の適用実態

#### 第3回 4/23(日) 12:15～14:45

ケース(3)「資産の減損」の適用実態

#### 第4回 4/30(日) 12:15～14:45

ケース(4)「企業結合」の適用実態